

さいたま市立大宮北中学校

学校だより 9月号



令和7年8月27日(水)

048(641)1214

048(641)6680(さわやか相談室)

<https://omiyakita-j.saitama-city.ed.jp/>

学校教育目標

『人間性豊かな
実践力のある生徒』

- ◆たしかな学力
- ◆ゆたかな心情
- ◆たくましい身体

砂の如き 雲流れゆく 朝の秋 (正岡子規)

校長 廣江 剛

9月といえども残暑が続き、体感的にはとても秋とは言えない様相が続いていますが、空を見上げると、真夏のもくもくとした岩のような入道雲ではなく、砂のようなうっすらとしたすじ雲が流れゆくことがあります。実りの秋はもうすぐです。

この暑い夏の期間、北中生の活躍が各方面でたくさんみられました。7月に行われた埼玉県中学校総合体育大会には、本校陸上競技部から3年生の石橋煌太郎さん、須田修司さん、岡部葵さんが出場し、女子四種競技で岡部さんが7位入賞。男子四種競技で石橋さんが2位に入賞し、石橋さんは、関東中学校陸上競技大会(栃木県)、全国中学校陸上競技大会(沖縄県)に出場しました。石橋さんの活躍はまさに、「中学生の可能性は無限大」であることを証明するものであり、全ての北中生に大きな希望を与えてくれるものとなりました。

中学男子の四種競技は、110Mハードル、走高跳、砲丸投げ、400Mの4つの種目を行い、それぞれの記録を点数化して合計点で競うという過酷な競技です。関東大会・全国大会に出場するには、埼玉県中学校通信陸上競技大会(6月)か埼玉県中学校総合体育大会(7月)で参加標準記録を突破する必要があり、石橋さんは、6月の時点では参加標準記録には及びませんでしたが、最後の挑戦となる7月の埼玉県中学校総合体育大会で自己記録を大幅に更新する成長をみせ、関東・全国の切符を手にしたのです。しかも、得意の走高跳の記録は、四種競技どころか走高跳専門の競技としても全国の参加標準記録を超える成績でした。栃木の関東大会には私と塚越先生も応援に行かせてもらいましたが、得意の走高跳で目標の記録には到達できなかったものの、どちらかといえば苦手としていた400Mで最後の最後に驚異の追い上げを見せ、総合成績8位で見事に入賞を果たしました。本当に感動的なレースでした。全国大会でも沖縄の厳しい気象に左右されながらも、素晴らしい活躍であったと聞いております。

その他にも、硬式テニスでは、3年生の田村公紳さん・1年生の長澤湊都さんペアが7月に埼玉県大会に出場し市の代表として活躍しました。そして、いつも朝から校内に美しい音色を響かせ、学校行事や地域行事等様々ところで楽しい音楽を届けてくれる吹奏楽部は、8月に埼玉県中学校吹奏楽コンクール中央地区大会に出場し、銀賞に輝きました。また、卓球部、美術部は地元公民館からの依頼を受け、小学生に卓球を教えたり、美術の制作のお手伝いをしたりするなどして、地域に貢献してくれました。さらに、7月末には、大宮国際中等教育学校で「さいたま市ストップいじめ子どもサミット」が開催され、本校を代表して生徒会2年生の中島理人さんが参加しました。本校のいじめ防止に向けた取組を発表するとともに、小・中学校を交えたグループ協議において、中島さんは自ら立候補して司会を務め、グループをリードして充実した話し合い活動を展開することができました。PTAの篠崎さん、秋山さんも保護者代表としてサミットに参加していただき、大変感謝しております。

さて、39日間の長い夏休みが終了し、実りの秋、充実の2学期が始まります。8月30日(土)は文化祭、9月末からは新人戦、10月25日(土)は合唱祭、10月29日(水)寿能台レース(3年)11月4日(火)寿能台レース(1・2年)等、充実した行事が続きます。北中生の真剣な表情、はじける笑顔がたくさんみられることを期待しています。そして、実りの秋は、読書の秋であり、学問の秋であることを忘れてはなりません。学校として日々の授業に磨きをかけ、学習活動をより充実させてまいります。